

未来の音楽家をサポートする保健室

京都市立京都堀川音楽高等学校は、昭和23年に国内初の公立音楽課程として創設され、平成9年に公立唯一の単独の音楽高校として独立しました。
平成22年4月に堀川御池北東に移転し、校名も京都堀川音楽高等学校と改称し新たなスタートを切りました。



保健室に入ったところには、木製の大きな机がありました。

机上には、下宿生向けの料理の本や一人暮らしの本、小澤征爾さんの本も用意されていました。生徒たちのお気に入りのコーナーです。



小学校では見慣れた足洗い場がありました。

ここでは、足浴を行い、腰痛や冷え性に悩む生徒たちの心とからだを温めるそうです。

一番よく使うのは、レンジでタオルを温めて作ったホットパットです。



保健室の一角には、カウンセリングルームがあり、廊下からも自由に入れます。

プライベートな空間が保たれています。シンプルな落ち着く空間です。

このように充実した設備と使いやすく工夫された保健室を、生徒たちはよく利用しています。

2台のベッドも活躍しているそうです。



市民の皆様へ～芸術に広く親しむ環境づくり



音楽ホールや音楽レッスン室、美術展示ギャラリーなどの施設を活かし、音楽・美術活動の中核施設として、市民の皆様が広く親しむ環境づくりを目指しています。学校教育活動に支障がない範囲において利用(有料)できます。

詳細は下記URLまで



<http://www.kyoto-ongeibun.jp/horion/>